平成２３年度 上春別中だより《第 ２３号》

みずなら

<発行責任者>
校長 亀〇彰〇
(3月２３日 発行)

指 標：『明日の自分のために今日頑張れる人』

＜ 教 育 目 標 ＞
知性を磨き 心豊かに逞しく

＜ 校 訓 ＞
自主 実践 協調

＜ め ざ す 生 徒 像 ＞
自ら感じ 考え 行動する生徒

卒業記念集会

3 月 13 日(火)、卒業記念集会が行われました。この日まで各学年単位で準備してきた出し物を披露し、3 年生の卒業をお祝いしました。

1 年生の出し物は AKB48 のダンスや創作のダンスでした。6 名のシャープな動きに 3 年生も大きな拍手を送っていました。ダンスはこれからの上春別中学校の伝統の一つになりそうです。2 年生は創作劇を披露しました。ヒーローが悪役の魔王に鍛えてもらうというギャグが混じった劇でしたが、内〇君の個性(ヒーロー)と向〇君の個性(魔王)がぶつかり、見事にボケと突っ込みを演じ切りました。そして前〇さんが途中で「復活の呪文」を使い、劇を振り出しに戻すというパフォーマンスを見せ、1 年生と 3 年生の爆笑を誘っていました。

執行部は学校のことをクイズに仕立ててくれました。普通は罰ゲームに使うような運動を回答権を得るために入れ、参加者をふらふらにさせていました。また、箱の中の物を触って当てるというゲームでは、怖がり屋の奥〇さんや北〇さんが見事なパフォーマンスを見せてくれました。

そして、体育館で昼食を皆で取った後、3 年生がお返しに歌のプレゼントをしてくれました。3 名の息の合った最後のコーラスを聞かせてくれました。放課後の時間等を使って練習していた成果を見せてくれました。

同窓会入会式

3 月 13 日(火)、千〇同窓会会長を向かえ、入会式を行いました。本校は、卒業式前に同窓会への入会式を行い、上春別中学校への所属意識を高める活動を行っています。

今回、65 期の卒業生ということで、総会員数 1753 名の一員となりました。上春別中学校の卒業生として先輩と連帯し、彼らが本当の意味で大人になる 10 年後開校 75 周年となります。その頃には会の運営の中心でがんばる姿を期待しています。

早寝、早起き、朝ごはん、テレビを止めて外遊び

第65回卒業証書授与式

3月15日(木)、第65回卒業証書授与式を行いました。来賓に別海町教育委員会教育委員長大〇保〇様をはじめとして、地域の方々、保護者の皆様の出席を頂き、複式校としての最後の式を盛大に行うことができました。

卒業証書の授与の後の式辞の中で「夢はみるものではなく、かなえるもの」の話をしました。そして、「苦しいときは私の背中を見なさい。」と言える大人になってほしいと話しました。卒業生にはその言葉の意味をしっかり考え、高校という新たなステージで頑張って欲しいと思っています。また、1･2年生には4月からそれぞれ1学年進級します。後輩に「先輩ってすごい。」と言わせる先輩であって欲しいと話しました。ぜひ、そのことを忘れずに努力を続ける人となってもらいたいと思います。

大〇教育委員長の祝辞では、学校での卒業生のいろいろな取組みをしっかり事前に把握し、祝辞の中で取り上げていただきました。教育委員長が本校の同窓生であることがこの授与式の生徒の活動に寄り添った祝辞につながったと思います。教育委員長が最後に卒業生と握手するという今までにない動きが入り、卒業生がビックリしていました。私を含めて多くの出席者の印象に残った一コマだったと思います。

最後になりますが、私達教職員一同は、どんなときも巣立って行く3名の卒業生の味方です。今までと違った世界でしっかりと根付き、素晴らしい高校生活を送って欲しいと思います。

卒業おめでとう！

お世話になりました。

今回の人事異動で亀〇と大〇央〇教諭が転勤となりました。今回、今年度最後の通信で大〇教諭のご挨拶を掲載いたします。

4月から、厚岸町立高知小中学校で勤務することとなりました。高知小中学校は、中学生6名、小学生9名の学校で、校区は上風連と浜中町に隣接しています。

上春別中学校では充実した7年間を過ごしました。陸上の全国大会へ2名の選手を引率したこと、卒業生を2度送り出したことなどが、心に残っています。地域が育んだ、素直で明るい子供たち。子供たちの笑顔や真剣に物事に打ち込む姿勢は、私の活力の源となり、いつも励まされてきました。温かい保護者の皆様や地域の皆様と作り上げた「合同運動会」や「地域文化祭」など、どれも色鮮やかに思い出すことができます。7年間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。